

衣浦定住自立圏共生ビジョン(案)に対する意見と市の考え方

No	取組項目	ページ	意見	考え方
1	病診連携の推進	10	刈谷豊田総合病院のデータを、オンライン化して市内の診療所で見られるようにすることだが、逆に診療所のデータも刈谷豊田総合病院で見られるようになっているのか。 もしなっていないのなら、相互利用できるようにするべきだと思う。	地域医療連携ネットワーク構築事業では、刈谷豊田総合病院の診療録、画像、検査結果などの診療情報を、かかりつけ医である診療所等と共有することを考えています。それにより、患者や医療機関の利便性の向上を図るものです。 なお、診療所のデータを刈谷豊田総合病院で見ることができる仕組みについては、診療科により異なるカルテを使用しているなどシステム構築における課題もありますので、実現の可能性について検討いたします。
2	公共施設の相互利用	14	内容に、『刈谷市総合文化センターで開催する市民講座の一部について、知立市、高浜市及び東浦町に在住、在勤する者が受講できるようにする。』とあるが、刈谷市が行っている講座のみを、他市町民に開くことはない。刈谷市民も、近隣の他市町が行っている講座に参加できるようにするべきだ。  他市町にも刈谷市にはない優れた講座が存在するかもしれない。 定住自立圏共生ビジョンによって、刈谷市の市民講座を開くのであれば、他市町の市民講座も開いてもらい、刈谷市民も利用できるようにするのが公平であり、またそうあってしかるべきだと思う。	今回策定する衣浦定住自立圏共生ビジョンについては、現時点で連携が可能な取組として検討いたしました。 頂いたご意見を踏まえ、講座などが相互に受講できるような仕組みを引き続き関係市町と協議します。
3	広域観光事業の推進	22	内容に、『各市町が独自に開催している祭りやイベントに他の市町が参加し、各市町の特産品のPR、物販や伝統芸能の披露、観光PRなどを行う。また、新たに関係市町が連携した合同イベントの開催も検討する。』とあるが、その場で消費出来るものを提供した上で、使用した素材は、刈谷市のどこで販売しているかを周知させるようにするべきである。	今後、イベントを実施するうえでの参考とさせていただきます。